

団体名		魚津市		 魚津市の市章  魚津市のイメージキャラクター「ミラたん」
《連絡先等》				
	所在地	魚津市釈迦堂一丁目10番1号		
	採用担当課	総務課		
	電話番号	0765-23-1020		
	ホームページ	https://www.city.uzu.toyama.jp/		
《団体の紹介》				
	団体の特徴・魅力等	・魚津市は「蜃気楼」「埋没林」「ホタルイカ」に代表される豊かな自然と、海から山まで非常にコンパクトで利便性の高い都市機能が融合した街です。 ・魚津市役所は、職員一人ひとりの顔が見えやすく、部局の垣根を越えてスピーディーに連携できる風通しの良さが特徴です。地域住民との距離も近く、主体的で一体感を持ってまちづくりに挑戦できるやりがいのある職場です。		
	職員数／平均年齢 (R8.4.1)	職員数 321人（定数条例上の一般職員数） 平均年齢（一般行政職） 43.2歳		
	職員の女性割合 (R8.4.1)	48.0%		
	管理職の女性割合 (R8.4.1)	31.9%		
	平均勤続年数（R8.4.1）	男性：20.6年、女性：16.7年、全体：18.8年		
	時間外勤務の状況（R7年度）	1人当たり1月当たり平均約9.7時間		
	年休平均取得日数（R7年）	10.3日		
《給与制度》				
	給与制度	■初任給 採用前の民間企業等における職務経験年数及びその職務内容に応じ、一定の基準に基づいて個別に決定 《行政の場合》 大卒程度：237,600円、短大程度：222,600円、高卒程度：206,700円		
		■諸手当（主なもの） ・通勤手当、扶養手当、住居手当（賃貸のみ、上限27,000円） ・時間外勤務手当、特殊勤務手当 ・期末・勤勉手当（いわゆるボーナス、年2回支給 計4.65月分） ■昇給 年1回（1月）		

《福利厚生・子育て支援情報等》		
	福利厚生情報	■勤務日 ・月曜日～金曜日（完全週休2日制） ・土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）は休み ※交代制勤務など一部職場では変則勤務あり ■勤務時間 ・8時30分～17時15分（7時間45分/日、38時間45分/週） （12時～13時は休憩時間） ■主な休暇制度 ・年次有給休暇20日（最大40日間）（1時間単位で取得可能） ※4月採用の場合は15日 ・夏期休暇5日（6月～10月に取得可能） ・家族看護休暇5日（子、配偶者、父母、祖父母等） ・結婚休暇7日 ・短期介護休暇5日（要介護者が2人以上の場合は10日） ・介護休暇6月以内 など
	子育て支援情報	不妊治療のための特別休暇（10日）、育児休業（3歳未満の子）、育児短時間勤務（小学校就学前までの子）、妻の出産休暇、男性職員の育児参加休暇など
	働き方改革の取組み	職員のライフステージに応じた柔軟な働き方の実現を目指し、テレワークの推進や時差出勤（早出・遅出勤務制度）の実施などにより、ワーク・ライフ・バランスを推進しています。
《研修制度や異動等》		
	研修制度	新規に採用された年度には、春・秋と2回の新規採用職員研修を実施しているほか、経験年数に基づく節目の研修をはじめ、主事、主任、主査など階層別に応じた必要なスキルを磨く研修、専門的な業務に役立つ研修など、県の研修機構等の研修メニューを活用してスキルアップできる機会を多く用意しています。
	異動等	・異動サイクルは概ね2～3年です。 ・現在働いている職員を含めて、毎年配属希望調査（自己申告書の提出）を行っています。本人の希望を加味しながら、適性や能力に応じて職員配置を行っています。必ずしも本人の希望どおりの部署に配属になるとは限りませんが、どの部署でも市民の役に立てるような業務に取り組めると思います。
《採用担当/先輩職員の声》		
	採用担当/ 先輩職員の声	・海から山までコンパクトにまとまった地域資源が豊かな魚津市でぜひ一緒に地域や市民の皆さまのために働きませんか？ ・地元で育った魚津への恩返し、県外の大学等へ出られた方は愛着のある地元へ戻ってきて働きたいという想い、民間企業よりも住民への奉仕目的に仕事がしたいなど先輩職員の想いや動機はさまざまです。ぜひ一緒に働きましょう。
《その他PR》		
	新庁舎整備（予定）	現在、魚津市役所の新庁舎の整備について設計が進められており、令和12年度に供用開始予定です。数年後からは、より環境の整った快適なスペースで業務に励むことができます！
	求める人物像	①市民と協働する職員、②経営感覚を持つ職員 ③未来を創り出す職員、④新たな課題に挑戦する職員 ⑤自分を、磨く職員 魚津市では上記5点を軸にした市民と一緒に主体的に行動できる能動型の職員を求めています。魚津というキャンパスと一緒に夢を描きませんか。